

牧之原市学校再編計画 説明会

in 地頭方地区



市では、現在、市内全域を対象とした学校の再編について検討しています。

令和2年度は、市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、9つの小学校区で住民のみなさんとの意見交換、中学生以下の子どもの保護者の方へのアンケート、さらに、インターネット等で多くの方から意見をいただき、これら意見を参考に「学校再編計画（素案）」を作成いたしました。

市は、この「学校再編計画（素案）」を尊重して、令和3年度中に「学校再編計画」を策定したいと考えています。

そのため、市民のみなさんに、計画のベースとなる「学校再編計画（素案）」の内容を知っていただき、学校再編に向けて一緒に考える機会を設けたいと考えています。

今回は、地頭方地区の区長さんのご協力のもと開催させていただくことになりました。ご多用とは思いますが、多くの方のご参加をお待ちしています。



開催日程

- 日時 令和3年10月1日（金）19：00～20：30
- 場所 地頭方原子力防災センター「ジーボ」

内 容

- 学校再編計画（素案）の内容と今後の進め方の説明
- 先進事例や小中一貫校のメリット・デメリットなど
- 質疑応答

対 象

- 地頭方区、落居区、豊岡区、新庄区、遠渡区 在住の方

お 願 い

- 準備の関係がありますので、区で参加者を取りまとめて、市教育委員会教育総務課へ人数を報告してください。

裏面に素案の概要が載っています



将来



【主催】

牧之原市教育委員会 教育総務課（牧之原市役所相良庁舎3階）

電話 53-2642 F a x 53-2657 メール kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

新しい小中一貫校をつくります

目指す 学校像

「みんなの学校」

- ①子どもたちが「学校が楽しい！」と思える子ども主体の学校
- ②みんなで子どもを育てる「共育（きょういく）」の学校



目指す学校づくりのための5つの基本方針

● すべての子どもが主役の学校

すべての子どもにとって、学びやすく活動しやすい教育環境を、子ども主体で考えます。

● 「次代を切り拓く力」を育む学校

一人一人の可能性を伸ばし、次代を切り拓くために必要な人間力を育むことができる環境をつくります。



● 安心・安全な学校

児童・生徒、教職員等が安心して学校生活を送れるよう、市民にとって最も不安な自然災害である津波の浸水想定区域外に、各種災害に強い学校施設をつくります。

● 地域の未来を担う子どもを育てる学校

地域の人に関わり、地域の資源や行事を通じて、子どもたちが地域愛を育むことができ、学校がみんなの場所となるようにします。

● 働きやすく充実した指導ができる学校

教職員が働きやすく、充実した指導ができる組織体制と施設環境を整備します。

5つの基本方針を実現する小中一貫校をつくるには

規模

1 学年 3 学級以上を基本

- ・開校時の規模・長期的に単学級にならない
- ・次代を切り拓く力を育むには一定の集団が必要

学校区

市立の学校は、相良地域、榛原地域に1校ずつの小中一貫校

- ・地頭方地区は、相良地域の小中一貫校に通うことを御前崎市と協議
- ・牧之原小・中学校は、高台開発計画があるため、再編対象とするかどうか、今後の人口動態を見て教育委員会が判断

開校

目標時期

令和12年度（2030年）

形態

施設一体型校舎

- ・校種は別に定める
- ・校舎の配置などは、計画策定後、学校ごとにつくる「学校施設整備基本構想」で検討

場所

● 相良地域

相良総合センター「い〜ら」から相良総合グラウンド周辺

● 榛原地域

榛原中学校からぐりんぱる周辺

- ・津波浸水想定区域外で、各種災害に強い
- ・できるだけ多くの児童生徒が、徒歩または自転車で通うことができる
- ・道路やインフラ等の状況を踏まえ、関係部署と連携を図る

